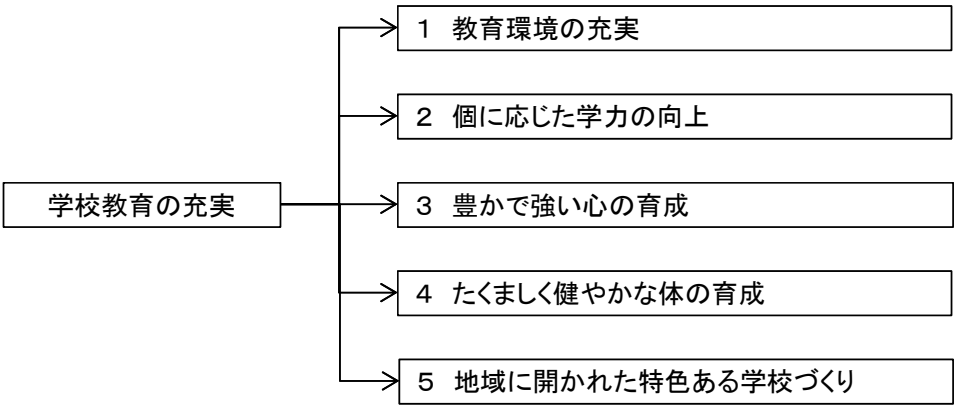


施策 2 学校教育の充実



基本事業 1 教育環境の充実

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標	
2-1 教育環境の充実	児童生徒 教職員	安全・安心で快適な環境で学ぶことができる。	①小・中学校適正規模・適正配置 基本計画における、学校統合率	①％	①0	②0	①33.3	A H29.2月に策定した大船渡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画に基づき、小中学校の適正規模化に向けた取組を推進し、令和元年度1に日頃市中学校、越喜来中学校及び吉浜中学校を閉校し、令和2年4月から第一中学校へ統合している。 学校に配備している図書について、充足率は、100%を超えているものの、保有図書が古くなっているものもあることから、順次更新をする必要がある。
			②図書充足率(整備冊数／整備 基準冊数)	②％	②111.1	②106.0	②107.0	

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標		
2-1-1 通学区域選定委員会 事務事業	教育長が委嘱している 通学区域設定委員会 委員(13名)	適切な市立小中学校区の設 定について、答申していただ く。	市内小中学校の通学区域の変更を要 する場合に、会議を開催し通学区域設 定について審議する。	通学区域変更答申件数	件	－	1	1	A 学校教育法施行令に基づき、義 務教育における適正な就学環境 を確保し、安全で快適な学習環 境の整備が図られている。	○ 適正に業務が進められて おり、今後も現在の取組を継 続する。
2-1-2 特別支援教育就学奨 励費援助事業	特別支援教育を受けて いる児童生徒	経済的な負担が軽減され る。	特別支援学級へ就学する児童生徒の 保護者等の経済的負担を軽減するた め、その負担能力の程度に応じ、就学 のための必要な経費(学用品等購入 費、校外活動費、新入学児童生徒学 用品費、修学旅行費、学校給食費、通 学に要する交通費)を補助する。	①就学援助できている割合(認定 児童生徒数/申請児童生徒数)	①％	①100.0	①100.0	①100.0	A 特別支援教育が必要とする児 童生徒が特別支援学級で就学す ることにより、義務教育の教育の 機会均等が図られている。なお、 全体の児童生徒は減少傾向にあ るが、本事業の申請者数は横ば い傾向にある。	○ 適正に業務が進められて おり、今後も現在の取組を継 続する。
2-1-3 学籍事務事業	小中学校の児童生徒及 び保護者を対象とす る。	義務教育への適正な就学と 学区外通学、区域外就学希 望者を指定校以外の学校へ 就学させる。	各小中学校の児童生徒の在籍数に基 づき、学級編成事務等を行う。事業とし ての予算はなし。	学区外通学、区域外就学承諾率	％	100.0	100.0	100.0	A 東日本大震災の影響や家庭環 境の多様化等により、学区外就学 者は児童・生徒数の1割程度を占 めている。根拠法令に基づき本事 業を実施し、児童生徒により良い 環境を与えることにより、豊かな心 を育む人づくりの推進に結びつい ている。	○ 適正に業務が進められて おり、今後も現在の取組を継 続する。

基本事業 2 個に応じた学力の向上

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標	
2-2 個に応じた学力の向上	児童生徒	児童生徒の基礎・基本及び活用に関する学力の定着を図る。	①「授業がわかる」と回答した児童生徒 【全国学力・学習状況調査】 ②標準学力テスト全国偏差値 【NRT教研式標準学力検査】 ・小学校5年国語 ・小学校5年算数 ・中学校2年国語 ・中学校2年数学	①％ ②％	① (小) 国89.0 算 84.8 (中) 国87.0 数 77.1 ② (小国) 53.4 (小算) 51.1 (中国) 52.8 (中数) 53.5	① (小) 国84.4 算 88.9 (中) 国84.5 数 73.1 ② (小国) 52.8 (小算) 52.1 (中国) 51.4 (中数) 50.1	① (小) 国80 算80 (中) 国80 数80 ② (小国) 54.0 (小算) 53.0 (中国) 52.0 (中数) 51.0	B 意識調査の結果では、小中学校の国語及び小学校の算数は目標値を上回った。前年度と比較すると、小学校の算数がポイントアップしたものの、国語が若干ダウンしている。また、中学校の国語・数学とも若干ポイントダウンしている。 学力テストの全国偏差値について、小中学校とも、目標値を下回っているが、全国の平均以上をキープできている。 各教科の領域によっては、全国の正答率から比べ、低くなっていることから、不得意領域の底上げが必要である。



事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標		
2-2-1 研究会講師派遣事業	小・中学校教員	教員が、「わかる授業」を実施する。 ※平成25年度まで実施していた「児童・生徒の意識調査」が廃止になったため、「岩手県学習定着度状況調査児童生徒質問紙調査(小5国語・算数、中2国語・数学)」による成果をみる。	各学校の校内研究の充実と授業の質の向上のため、小・中学校の校内研究会に指導主事を派遣する。	①児童への質問紙(国語・算数の授業の内容はよく分かりますか・・・当てはまる、どちらかと言えばそう思う)によって成果をみる。 ②生徒への質問紙(国語・数学の授業の内容はよく分かりますか・・・当てはまる、どちらかと言えばそう思う)によって成果をみる。	①％ ②％	①87.0 ②82.5	①89.0 ②93.0	①88.0 ②83.0	A 各学校では、児童生徒の学力向上に向けて、派遣される指導主事の協力を得ながら熱心に校内研究を進めており、一定の成果を収めている。学習内容の理解が深まることは、児童生徒の学ぶ意欲につながり、市民憲章「学ぶ心を大切に、香高い文化のまちをそだてます。」の実現に密接に関連していることから、更なる充実を図る。	● 各小中学校において、学力向上に向けた研究が充実し、成果に繋がる授業実践がなされているが、保護者から児童生徒の個をいかした授業を望む要望が寄せられていることもあり、研究主任(各学校)が中心となって校内研究会をさらに充実する必要がある。
2-2-2 知能検査・学力検査実施事業	教職員	児童生徒の学力水準を診断、分析し、授業に生かしてもらう。	児童生徒の学力水準を診断、分析するとともに、全国、県内との比較をし、学力の実態を把握する。 ※小2、小5、中2で知能検査及び学力検査(NRT)を実施。	①小学校2年生の正答率 ②小学校5年生の正答率 ③中学校2年生の正答率	① ② ③	①72.8 ②60.3 ③60.4	①71.0 ②60.4 ③56.7	①74.0 ②62.0 ③62.0	A 学力の実態を把握することで、授業改善の方向性が明らかになり、児童生徒が個に応じた指導を受けられ、学習への取組みに対する意欲が喚起されることに繋がっている。	○ 今後も継続して、学力・知能検査を実施し、その結果を学力向上に繋げていく。なお、実施検査については、他に適切な検査がないか、十分に検討したうえで、継続実施していくことが必要である。
2-2-3 生徒指導研究事業	市内小中学校の生徒指導主事等	児童生徒の自己指導能力を育むための援助の在り方について学んでもらう。問題行動発生時の適切な指導方法を学んでもらう。	各小中学校の生徒指導研究委員が、生徒指導上の諸問題の未然防止や適切な対応するため、事例研究・先進的な取り組みなどについて研修を深め、実践力を高める。	適切な指導方法を学べたと答えた主事数	人	19	19	16	A 児童生徒の自己指導能力を育むための支援の在り方や適切な指導方法について、生徒指導主事だけでなく、担当等も広く学ぶことで、指導生徒の問題行動の発生が抑えられ、健全育成が図られている。	○ 教員の生徒指導に係るスキルアップに繋がるものであることから、今後も有意義な研修となるよう努めていく必要がある。

基本事業 3 豊かで強い心の育成

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標	
2-3 豊かで強い心の育成	児童生徒	命を大切にし、他人を思いやる心豊かな人間性を育てる。	①「人が困っているとき進んで助けている」と答えた児童生徒の割合	①% 児童生徒	① 97.0 78.0	① 88.1 88.6	① 92.0 90.0	B 調査の結果、成果指標の①については、小学校の児童の割合が昨年度より約10%下がったものの、中学校の生徒の割合が10%以上上がった。②、③については、小中とも前年度から比べ若干下がっている。 下がった要因は特定できないが、道徳の授業や体験活動の内容を工夫しながら、学校の教育活動全体で、児童生徒の自己有用感を高める取組を行う必要がある。
			②「人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童生徒の割合	②% 児童生徒	② 97.7 98.2	② 95.5 96.6	② 98.0 98.0	
			③「自分にはよいところがある」と答えた生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	③% 児童生徒	③ 83.2 81.6	③ 80.7 76.9	③ 80.0 75.0	



事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標		
2-3-1 教育相談員配置事業	教育相談員	保護者や児童・生徒の心のケアを行い、問題行動等の原因を取り除く。	学校と家庭との連携を図りながら、不登校をはじめ問題行動のある児童生徒に対し、専門的な立場から指導、助言する。	不登校改善率	%	77.0	78.0	78.0	B 児童や保護者の抱える悩み相談に対応することにより、児童生徒の問題行動の抑制が抑えられているが、不登校児童生徒は横ばい傾向にあり、減少にまでは至っていない。不登校に至るまで、複数の原因が複合化している場合が多く問題解決が難しくなっている。	● 教育相談員が児童生徒及び保護者や学校に対し、有効かつ適切に対応できるよう、研修の機会を増やし、更なるスキルアップを図っていく必要がある。
2-3-2 教職員健康診断事業	市内小中学校教職員	市立小中学校教職員が心身ともに健康で教育を提供することができる。	各市立小中学校の各種健康診断(定期健康診断、胃がん検診)の実施 ※各種健康診断の委託契約書作成及び締結、各種健康診断受付業務、各種健康診断結果の本人・在籍学校長・学校医への報告、各種健康診断委託料の支払い	健康診断受診者数	人	267	272	250	A 学校保健安全法に基づき実施しており、市立小中学校職員が心身ともに健康であることで、義務教育の充実が図られている。	○ 適正に業務が進められており、今後も現在の取組を継続する。
2-3-3 日本スポーツ振興センター災害共済事業	市立小中学校児童生徒	市立小中学校児童生徒が安心して教育を受けることができる。	学校管理下で児童生徒及び幼児がケガなどをした時に、共済給付金を支給する。 ※各小中学校へ共済給付制度加入者の照会、災害共済給付契約締結の手続き、災害共済給付金請求、災害共済給付金支払い	災害共済給付契約児童生徒加入率	%	100	100	100	A 市立小中学校児童生徒が安心して教育を受けられる環境を整えることで教育環境の充実が図られている。	○ 適正に業務が進められており、今後も現在の取組を継続する。

基本事業 4 たくましく健やかな体の育成

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標	
2-4 たくましく健やかな体の育成	児童生徒	健康でたくましく成長する。	①体力・運動能力調査(小5) T得点【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】	①点	①男51.1 女51.9	①男54.9 女56.6	①男 52.0 女 51.0	B 体力・運動能力調査で、小学校の児童は、男女とも若干点数が上がったものの、中学校の生徒は、男女とも点数が下がっている。特に男子生徒の体力低下が懸念される。 授業内容の改善や日常的に体を動かす習慣づけなど、計画的に体力向上の取組を進める必要がある。
			②体力・運動能力調査(中2) T得点【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】	②点	②男51.7 女50.9	②男43.9 女48.7	②男 52.0 女50.0	
			③毎日朝食を食べると回答した児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	③%	③ 小学校97.3 中学校93.0	③ 小学校96.7 中学校94.7	③ 小学校100 中学校100	



事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標		
2-4-1 小中学校体育文化活動大会出場費補助事業	県大会以上の体育及び文化大会に出場する小中学校の児童生徒の保護者	経済的負担が軽減される。	小中学校の児童生徒に知識技能の向上の機会を与え、体育活動及び文化活動の充実と振興を図るため、体育及び文化大会への出場に要する経費に対し、予算の範囲内で補助する。	補助対象経費(総額)に対する補助率	%	58.1	55.8	54.1	A 体育文化活動の充実により、児童生徒の心身の健全育成が図られている。	○ 適正に業務が進められており、今後も現在の取組を継続する。
2-4-2 大船渡市学校保健会運営支援事業	大船渡市学校保健会会員(市立小中学校児童生徒)	学校保健衛生向上に役立ててもらう。	学校保健・給食分野で最前線に位置付けられる大船渡市学校保健会の運営を支援するため、補助金を交付し、学校保健・給食の普及促進を図る。	大船渡市学校保健会会員加入率	%	100.0	100.0	100.0	A 学校保健・給食の改善・向上を図ることを目的に会が発足しており、運営を支援することにより、学校保健の普及促進の一助となっている。	○ 適正に業務が進められており、今後も現在の取組を継続する。

基本事業 5 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標	
2-5 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進	小中学校	家庭や地域に学校教育活動への参加、協力を促す。	①「学校を中心に地域と協力して教育が行われている」と答えた市民の割合【市民意識調査】 ②学校生活の様子を地域住民に伝える取組をしている学校の割合（各校の校報発行割合）	①％ ②％	①34.2 ②100.0	①34.5 ②100.0	①50.0 ②100.0	A 各学校では、校報の発行・ブログ等のインターネットによる情報発信及び授業の公開等、家庭・地域に学校の様子を伝える取組を推進している。 学校運営を円滑に行うためには、家庭や地域との連携・協力がが欠かせないことから、地域住民の各行事への参画をはじめ、校外活動での活用など、学校から地域への働きかけを積極的に行い、地域の協力が得やすい雰囲気づくりを計画的に醸成する必要がある。

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標		
2-5-1 学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業（学校支援事業）	学校教育を支える地域住民	学校教育活動を支援する。	スクールガード配置事業、学校支援地域本部事業、事業評価検証委員会の開催 ※希望する市内各小中学校にスクールガード、地域コーディネーターを配置し、登下校時の児童生徒の安全確保と、地域ボランティアによる学校支援活動を実施	①スクールガード活動時間 ②地域コーディネーター活動時間 ③地域ボランティア活動時間	①時間 ②時間 ③時間	①8,704 ②0 ③2,089	①8,394 ②2 ③1,756	①8,160 ②144 ③2,184	A 様々な環境の変化があった中、スクールガードの巡回により、登下校時の安全は確保されているとともに、地域住民がスクールガードとして活動していることにより、児童生徒との交流が生まれ、新たな地域コミュニティ形成の一助となっている。	○ 地域ぐるみで子どもたちを育成する観点から、当面は現状の事業を継続する必要がある。なお、本事業（国庫事業）が令和2年度で終了となることから、新たな財源確保や事業のあり方等検討する必要がある。
2-5-2 「総合的な学習の時間」推進事業	児童生徒	児童生徒に外部講師の指導による体験学習を受けさせる。	「総合的な学習の時間」における各学校が展開する体験学習に外部講師を招聘する。	①体験学習を実施した回数 ②外部講師招聘延べ人数	①回 ②人	①85 ②289	①86 ②269	①80 ②250	A 多様化する社会にあって、児童生徒の生きる力を自ら学び、自ら考える力を育成する教育が求められていることから、体験学習を行うことにより、生涯学習の基盤が培われ、基礎的な知識及び技能の習得に繋がっている。	○ 「総合的な学習の時間」の充実を図るために、地域人材等を外部講師として活用した実践が必要不可欠であることから、今後も継続して事業を実施していく必要がある。

□総括

施策名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H30実績	R1実績	R2目標	
2 学校教育の充実	市内小・中学校の児童生徒	「知・徳・体」の調和が図られ、人間性豊かに成長する。	①「学校に行くのが楽しい」と答えた児童の割合	①%	①90.0	①88.9	①90.0	B 教育環境については、小・中学校適正規模・適正配置基本計画に基づき、学校統合を進めており、令和2年4月に、日頃市・越喜来・吉浜中学校が第一中学校に編入統合し、赤崎中学校と綾里中学校、大船渡中学校と末崎中学校の統合の協議も行われている。中学校での今後における、これまで以上の適正な規模での学校教育に大きく寄与している。 児童生徒の学力は、全国平均以上であることから、一定の成果を上げているものの、運動能力調査等の結果では、特に中学校生徒の点数が下がっており、計画的に体力向上の取組を進める必要がある。 学校運営を行っていく上で、地域との連携・協働が欠かせないことから、各学校では、今まで以上に、地域に目を向けるとともに、地域の方々が気軽に学校運営に携われるような土壌づくりを進める必要がある。
			②「学校に行くのが楽しい」と答えた生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	②%	②79.0	②79.9	②85.0	
			課 題					
			・令和3年度に見込まれる教員の復興加配終了後の、各学校に配置される教員数の減少に対応する方策に対する検討 ・復興加配教員やスクールカウンセラーの削減を踏まえた、教員の負担軽減策(少人数指導講師の配置基準及び配置人数の見直し等)の検討 ・スクールカウンセラーによるカウンセリングや教育相談員の相談等へのニーズの高まりを踏まえた、教育相談体制の維持・充実					